

パソコンのメンテナンス (3)

「システムの復元」を考える。

「システムの復元」は、Windows Me から導入された機能で、パソコンが不調に至った場合、快調であった時期の状態に戻すことができます。

一方、プログラムを新たにインストールしたり、又はアンインストールしたり、あるいはシステムの設定を変更したりすると、自動的に「復元すべき状態」を復元ポイントとして設定されます。

放置すればするほど、復元ポイントが増大しその結果、各復元ポイントに必要な情報やデータ等を保存しますから、ハードディスクドライブの負担も大きくなります。

1. 「システムの復元」対象の復元ポイントを見る。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムの復元」を開く。

1) 「システムの復元の開始」ダイアログが開く。

「コンピュータを以前の状態に戻す」が選択されていることを確認し、「次へ」。



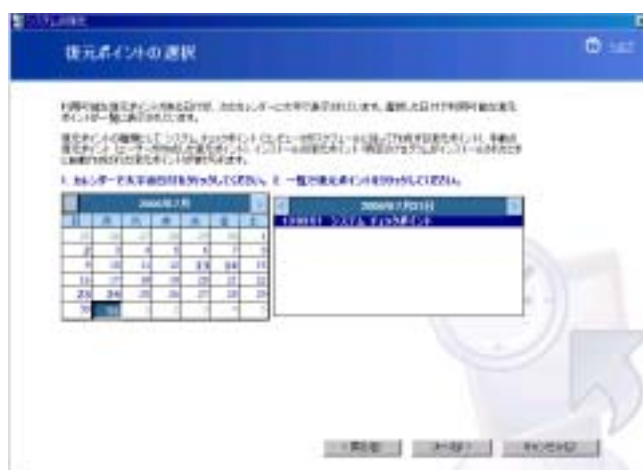
2) 「復元ポイントの選択」画面が表示される。

現在「月」のカレンダーに「太文字」で表示された日付が、「戻せる」ポイントになる。

何らトラブルの無い環境下でも、多数の復元ポイントが作成されている。

念のため、前月や前々月のカレンダーも確認しておく。

「戻る」ボタンで、前頁の「システムの復元の開始」に戻る。

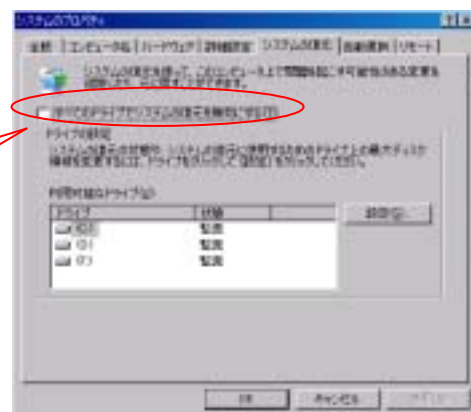


3) 「システムの復元の設定」をクリックする。

「システムのプロパティ」が開かれる。

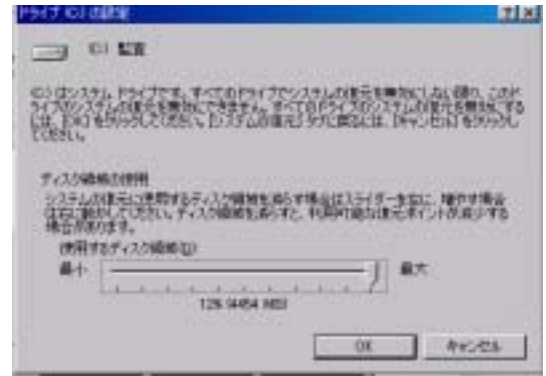
「システムの復元」タブが開かれていることを確認し

「利用可能なドライブ」欄で「C」ドライブを選択し右の「設定」ボタンを押す。



ここにチェックを入れない。
入れると復元ポイントが作られない。

- 4) 「ドライブ (C) の設定」画面が表示される。
 初期設定では、Cドライブの容量に対して12%が割当されている。
 基本的に、当該割当容量を超える部分から削除される(「ごみ箱」と同じ)。領域サイズを縮小しても、復元ポイントが作成されなくなるわけではない。
 当然、サイズが大きいほど、復元ポイントが多く保存される。

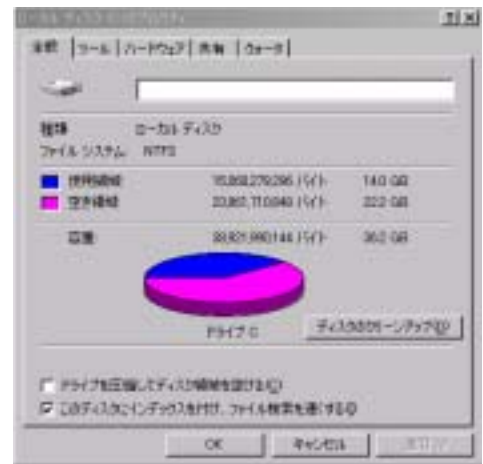


- 5) スライダを動かして、当面のサイズを5~7%程度に設定する。
 (使用するパソコンによって、Cドライブのサイズが異なり、使用する環境によっても復元ポイントの必要条件も異なる。)
- 6) 最新の「復元ポイント」のみを残して、その他の「復元ポイント」を削除する。
 「マイコンピュータ」を開き、「Cドライブ」を右クリック、「プロパティ」を開く。

「全般」タブで「ディスクのクリーンアップ」を実行する。

「ディスククリーンアップ」画面が表示される。
 「詳細オプション」タブを選択する。

「システムの復元」欄の「クリーンアップ」ボタンを押す。古い復元ファイルが削除される。



OK ボタンで終了する。

